

2024年

3月17日(日)



時間 / 13時～16時30分

会場 / 京都府立 京都学・歴彩館 大ホール

定員 / 400名 (無料)

お申込は
こちらから



※申込多数の場合は先着順
※会場参加者が定員に達しない場合、
当日受付を行います。

または 電話 075-414-4706
Fax 075-414-4705 まで



左：宇田川榕菴 写生植物百貳種へびイチゴ
中央：珍品草木寫眞の内小奇品草木寫眞シラネアオイ、ササバラシ
右：竹内標本アツモリソウ (画像：京都府立植物園提供)

京都の文化と生物多様性

動植物標本のデジタル化の意義

きょうと生物多様性センター「標本デジタル化システム」導入記念
京都府立植物園100周年記念 フォーラム



講演

- デジタルアーカイブの意義について ————— 植田憲司氏 (京都経済短期大学 講師、元京都文化博物館学芸員)
- 京都府立植物園における植物標本と大森文庫について — 小川久雄氏 (京都府立植物園 職員)
- 蘭山を越えて 博物学と生物多様性 ————— 光田重幸氏 (きょうと生物多様性センターアドバイザー、元同志社大学 准教授)
- 近世の植物画と大森文庫 ————— 森 道彦氏 (京都国立博物館 研究員)

パネルディスカッション

- テーマ：京都の文化と生物多様性について (コーディネーター：重原 奈津子氏 (きょうと生物多様性センター))

主催：京都府・きょうと生物多様性センター

京都府

きょうと
生物多様性センター



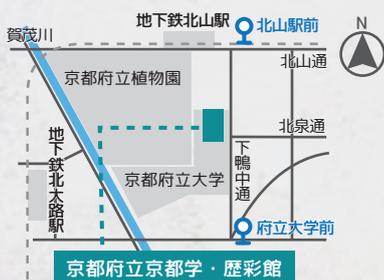
京都の文化と生物多様性 ～動植物標本のデジタル化の意義～

きょうと生物多様性センターへの「標本デジタル化システム」の導入を契機として、動植物標本や文献のデジタル化をテーマに、京都の豊かな自然を背景に育まれてきた文化との関わりを絡めたフォーラムを開催いたします。動植物標本のデジタル化にあたり、京都府立植物園が所蔵する植物標本や「大森文庫」にスポットライトを当てながら、デジタルアーカイブの意義や、江戸時代の本草誌などを通じた京都の文化と生物多様性の関わりを読み解きます。



導入イメージ) 兵庫県立人と自然の博物館
標本撮影スタジオ室提供

きょうと生物多様性センターは、標本デジタルスキャンシステムの導入により、府内の貴重な標本や生物多様性に係る文献等をデジタルアーカイブ化し、府民などが利活用できる形で順次公開していく予定です。



会場へのアクセス

- 京都市営地下鉄 北山駅から徒歩4分
 - 京都市営バス 北山駅前から徒歩4分、府立大学前から徒歩6分
- 公共交通機関の積極的な利用をお願いいたします。

京都府立植物園の共同企画

2024. 3.7~12

植物園会館2階多目的室 大森文庫と標本展

植物標本や大森文庫のうち、選りすぐりのコレクションを特別公開

2024. 3.15~18

植物園会館1階展示室 早春の山野草展

早春の山野草展に合わせてデジタル化したフォーラムに関連する約100年前の植物標本や大森文庫所蔵の書籍の画像データを公開 (一部、実物展示)



左…本草通串詳細図異本関根雲停画スイセン、ヒガンバナ (画像…京都府立植物園提供)
右…竹内標本オオキンレイカ

～大森文庫とは～

京都府立植物園設立に関わった第10代京都府知事大森鐘一氏が、退任後東京へと戻ることになった時に、これまでの功労をたたえ、当時の京都政財界を始め多くの府民から寄付金が集められた。その資金は知事最後の大事業となった植物園に園芸/本草に関する書籍の一大コレクションを作るため京都府に寄付され、以降、京都府立植物園で管理が行われている文献群。

お問合せ

■ 京都府 総合政策環境部 自然環境保全課

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
電話番号：075-414-4706
FAX：075-414-4705
メール：shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

■ きょうと生物多様性センター

京都市左京区下鴨半木町 (京都府立植物園会館内)
電話番号：090-4496-3887
メール：contact@kyotobdc.jp
SNS：KYOTOBiodiverse



HP



X



Instagram